

登録コード	E9121200	開講年度	2026				
授業科目	社会・集団・家族心理学					担当教員	向井 秀文
英文授業名	Social, Group and Family Psychology					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・1時限		対象学生
講義室	教育N 2 0 1 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				社会的集団を多角的に理解し, 社会の一員として他者とより良い関係を築くための視点を獲得する		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				社会・集団・家族心理学の主要な知見を知識として習得し, それを多様な社会的問題の解決に応用できるようになること		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	対人関係並びに集団に おける人の意識及び行動についての心の過程, 人の態度及び行動, 家族, 集団及び文化が個人に及ぼす影響等について講義する。授業では, 各回で可能な限りディスカッションの時間を設け, 社会・集団・家族心理学に関連する知識の理解を深めてもらう。						
(5)授業計画	第1回: オリエンテーション / 社会・集団・家族心理学とは 第2回: 対人認知 第3回: 態度と行動 第4回: ステレオタイプと偏見 第5回: 向社会的行動と反社会的行動 第6回: 社会的促進と社会的抑制 第7回: 社会的影響 第8回: 集団過程 第9回: 社会的相互作用 第10回: 対人関係の形成と発展 第11回: 家族の人間関係 第12回: ソーシャルサポート 第13回: 文化と社会心理 第14回: 授業の総括(期末試験) * 教育実習における欠席分の補講について: e-alpsに補講用の動画をアップロードしますので、視聴後、指定されたフォーラムにレポートを提出してください * 授業最終回に授業アンケートを実施します						
(6)成績評価の方法	・「授業の達成目標」の到達度を測るディスカッションや課題への取り組み: 50% ・「授業の達成目標」の到達度を測る期末試験: 50% ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	ディスカッションや課題への取り組み, 期末試験に関して, それぞれの評価割合が6割以上であれば「水準にある」, 7割以上であれば「やや上にある」, 8割以上であれば「かなり上にある」, 9割以上であれば「卓越している」と判断する。						
(8)事前事後学習の内容	授業中に配布される資料を使って授業内容を十分に復習してから次回授業に臨むこと。						
(9)履修上の注意	・ 授業の終了時に毎回課題(小レポート)を実施する。 ・ 授業時間以外の予習・復習が必要となる。						
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	mukaih@shinshu-u.ac.jp (向井秀文)						
【教科書】	指定しない						
【参考文献】	適宜紹介する						